



## 【教育目標】

心豊かに学び、たくましいジッダっ子の育成

令和元年(2019年)12月11日 NO.9

TEL 664-3437 FAX 664-2963

HP <http://jjs-japan.com>

E-mail [jjssa@jjs-japan.com](mailto:jjssa@jjs-japan.com)

## 大いに盛り上がった大運動会 12/6(金)実施

ご多用の中、ご来賓や保護者、日本人会の皆様にご参加いただきまして心より感謝いたします。ジッダ日本人学校は、日本人会の皆様を支えられていることを改めて実感する機会となりました。遠方にお住いの方々や出張等でご参加いただけなかった皆様からも、運動会の盛会を応援していただいていると聞き、たいへん嬉しく思いました。当日は、温かいご声援を受けながら、子ども達は精一杯取り組むことができました。皆様のご協力とご支援に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 【今年の運動会スローガン】

「全力・協力・責任で、  
楽しい運動会にしよう！」



## ブリティッシュスクールとのスポーツ Day 交流 12/9(月)実施

毎年この時期に、ブリティッシュスクールからスポーツ Day 交流に招待していただいています。今年も他校との交流を大切に国際理解教育の一環として参加しました。児童生徒は、普段学習している英語を使って積極的にコミュニケーションをとり、さまざまなスポーツを楽しむことができました。これからも、このような機会を大切にして、「体験を通した豊かな学び」を一層充実させていきたいと思えます。



たくさんの種目にチャレンジしました!

★ブリティッシュスクールの校長先生と  
記念写真を撮りました。  
★本校からは、「感謝」という文字  
をデザインした手作りのプレゼント  
を贈りました。

## 学習参観日・懇談会・親子レクへのご参加ありがとうございました 11/15(金)実施

今年度第3回目の学習参観日には、授業参観・学級懇談会・親子レクを実施しました。ご多用の中、多数ご参加いただきありがとうございました。

今回は、キャリア教育に焦点を当てて、1校時は各担任による授業公開、2校時にはご家族の方にも参加していただき「参加型全校授業」を行いました。授業者は下村教頭が担当し、「世界がもし25人の村だったら」をテーマに、国際理解教育の学習を行いました。言葉の違いや人口の違い、宗教の違いなど、ワークショップを交えながら楽しく学ぶことができました。

また4校時には、日産自動車の上村様を特別講師にお迎えして、「親子で楽しむラグビー教室」を開催しました。上村様から寄贈いただいたラグビーボールに初めて触る子どもたちは、どの子も興味津々の表情！パスやスクラム、簡単なルールを教えていただいたあと、「タグラグビー」のゲームを楽しみました。みんなで夢中になって走り回ったりパスし合ったりしてあっという間に時間が過ぎ、楽しく気持ちのよい汗を流しました。講師の上村様、ご参加いただきました保護者や日本人会の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



参加者全員によるワークショップ



【感想アンケートより(抜粋)】

- グローバルな視点から「気づき・考える」工夫がなされており、子ども達が今日学んだことを覚えてくれたらと願います。また、なぜ貧富の差があるのかについて、深掘りしていくとよいかと思いました。
- 世界には字が読めない人がたくさんいること、そして、文字が読めないということがいろいろと困ったことを引き起こすということについて改めて考えさせられました。当たり前と思っている暮らしが、実はとても恵まれたものであるということを忘れないようにしたいと思いました。
- 単に本を読んで聞かせるだけでなく、25人のうちの一人になること、演じることで、世界のことがよりよく理解できました。子ども達が本当に楽しそうに学習していてうれしかったです。
- 今最も旬なラグビーを題材にして、大人と子どもが一緒になってタグラグビーを楽しみながら、『One for all, All for One』『ノースайд』のフレーズが、子ども達だけでなく保護者の心にも刻み込まれて良かったと思います。

## 今年の写生会は、世界遺産の AL BALAD(アル・バラッド)にて 11/7(金)実施

アル・バラッドを代表する「ナシーフハウス」前に到着後、三々五々にお気に入りの場所を決めてから下絵を描き始めました。低学年の子どもたちは大きな扉に興味を持ち、さっそく大胆に描いていきます。4年生以上は広場周辺に分散して、思い思いに鉛筆を走らせています。スパイスの香りに包まれながら一生懸命描き続ける子どもたち。すると、その頑張



どの子も夢中になって描きました！

っている姿を見た地元の名士の方が、水とお菓子をプレゼントしてくださいました。全員でお礼を述べた後一緒に記念写真を撮りました。オールド・ジッダの雰囲気や現地の人達の温かさを感じながら、とても有意義な写生会となりました。